

視 察 報 告 書

公明党 土田 弘之宣

委員会：都市整備常任委員会

期 間：平成30年10月31日（水）～11月2日（金）

視察都市等及び視察項目

- 1、 広島県尾道市：サイクリングポートみなとオアシス尾道
・みなとオアシス瀬戸田について
- 2、 広島県福山市：道路通報アプリ パ撮ローズについて
- 3、 兵庫県神戸市：ヴィッセル神戸練習場 いぶきの森球技場について

1、サイクリングポートみなとオアシス尾道・みなとオアシス瀬戸田について（10月31日）

視察第1日目に「サイクリングポートみなとオアシス尾道・みなとオアシス瀬戸田」の現地を見学させて頂き尾道市役所でご説明を伺いました。

【サイクリングポートみなとオアシス尾道】

風光明媚な尾道の市街地に隣接したウォーターフロントに位置しており、しまなみ海道のサイクリングの拠点として、また、市民や国内外からの観光客が集う交流の場所として整備されました。「ONOMICHI U2」「ポートターミナル」「しまなみ交流館」「東御所緑地」で構成され、「ウォーターフロントビルを中心とした賑わいの創出」を目的に整備されました。

① 「ONOMICHI U2」：サイクリストの方々が利用しやすい環境が整備されてい

る施設で、食事や宿泊ができ本格的なロードバイクをレンタルできるプロショップ「GIANT」がある。建物東側～海沿いには、ウッドデッキが整備されている。

⑦施設名：「西御所県営上屋2号」

事業について：観光資源基盤整備事業として平成22年度から平成24年度に2億7千万円をかけて整備された。

施設の整備内容：ボードウォーク（材料に広島産檜材を使用）、転落防止柵、石張舗装（尾道市の歴史を刻印）、植栽設備

施設の内容：昭和18年建築の鉄筋コンクリート造平屋建で延床面積は2019 m²。港湾計画上の土地利用区分は交流更生用地（南デッキ部分はふ頭用地）。改修は平成25年度に3億円かけて行われた。

活用方法：利用形態は、港湾施設の目的外使用で尾道の魅力・地域情報・観光情報の発信等によるにぎわい創出が目的。

収支：収入 目的外使用料 約900万円（別途、市賑わい創出事業分約250万円の収入あり）

支出 管理委託料、電気代等 約600万円

⑧「西御所県営上屋2号別棟トイレ」

事業について：みなと振興交付金等で平成23年度から平成24年度に5700万円をかけて整備された。

施設の内容：木造平屋建、施設面積85.7 m²

トイレ、シャワー室、コインロッカー

維持管理費：清掃委託約100万円/年、植樹帯管理約10万円/年、光熱水費約160万円/年

② ポートターミナル

1階に乗船チケット売り場や売店レストランがあり、尾道周辺の観光案内を常設し、2階から上はホテルとなっている。

③ しまなみ交流館

年間を通じて様々な音楽コンサートや講演会が開かれている大型の施設。

④ 東御所緑地

海沿いの緑地広場。遊歩道が整備されており、各種イベントも開催している。



「ONOMICHI U2」



プロショップ「GIANT」



レストランや店舗



ボードウォーク



尾道市議会で説明を受ける

所感：「みなとオアシス」は、海浜・旅客ターミナル・広場など、みなとの施設やスペースを活用して、地域振興活動が行われる交流拠点のことで、国土交通省が登録しています。横須賀市の久里浜港もペリー来航から 165 年を迎える、今年の 7 月 14 日に水師提督ペリー上陸記念式典の中で登録証交付式が行われました。ペリーゆかりの地から、登録名を「みなとオアシス “ペリー久里浜”」とし、今後「みなとオアシス」としての更なる整備を進められることになり、「みなとオアシス」として先進地である尾道市を視察させて頂きました。特に「ONOMICHI U2」に関しては、対岸に造船所があることから本市の浦賀港に似た雰囲気を感じ、また、自転車で利用できる施設としては、本市の進める自転車施策にも非常に参考になりました。現在の久里浜港が観光の観点からも魅力的な場所になるよう様々な提案をして参ります。

2、道路通報アプリ パ撮ローズについて（11月1日）

視察第2日目に福山市役所を訪問させて頂き「道路通報アプリ パ撮ローズ」のご説明を頂きました。

「パ撮ローズ」とは、市民の皆様が、市道上における舗装の損傷や上下水の漏水、マンホール蓋の不具合などを発見した際に、手持ちのスマートフォンから現場写真と位置情報を併せて通報できるアプリです。

このアプリは、今年4月20日より運用を開始しています。

通報内容としては、限定した10項目の選択方式としています。（道路としては、①陥没・穴ぼこがある②ガードレール・柵が壊れている③カーブミラーが壊れている④道路を横断する水路蓋が壊れている⑤倒木があり通れない⑥落石がある⑦マンホールががたついている 以上7項目。上下水道としては、①道路舗装の割れ目等から水が出ている②水道管から水が出ている③マンホールから水が出ている 以上3項目で計10項目。）

通報の流れとしては、スマートフォンでアプリをダウンロードし、メールアドレスとユーザー名（実名の必要はない）を登録していただく。これは、市から通報者へ対応結果を返信するためです。アプリからの通報方法としては、電話で通報することも可能で、関係部署の連絡先一覧が掲載されており、平日の業務時間外や、休日で緊急を要する場合は、電話にて通報をしてもらうようになっております。

アプリから通報する場合、まず通報内容を10項目より選択します。次に、現場の損傷状況がわかる近景写真と周囲の風景を含めた遠景写真をそれぞれ

1 枚ずつ撮影します。写真については、既に取りっていた写真を添付することも可能です。次に、GPS機能をONにしている場合は、『現在地を取得』をタップすることで、現場を地図上に示します。また、住所検索により該当の場所を地図上に表示させる機能を運用開始後に追加しています。その後は、内容を確認し、『レポートを送信』をタップすることで、通報内容が市に送られます。

通報状況としては、10月30日時点、全体で488件。「陥没・穴ぼこがある」が396件と約81%で最も多くなっています。対応状況は、処理済が449件、対応中が26件、未処理が13件となっており、92%が処理されています。導入による効果としては、「写真により損傷状況の詳細の把握が可能となり、応急対応等の的確な事前準備が可能となった。」「現場の正確な位置を、パソコンの地図上で確認できるようになった。」「より円滑で迅速な現場対応ができるようになった。」「手軽に通報できることから、広く多くの情報が寄せられている。」が挙げられます。



所感：

市民が常に携帯しているスマートフォンを活用することにより、道路の問題を自由に手軽に報告できるため非常に有効な手段であると感じました。今後、本市でも導入を検討し、より良い交通環境の維持管理のために活用できればと思います。視察項目からは外れたが、福山市には土木常設員という特別職の地方公務員制度があり、地域の道路の課題についてある程度の責任を持って担当されており、素晴らしい制度であると思います。

3、ヴィッセル神戸練習場「いぶきの森球技場」について（11月2日）

視察第3日目に神戸市役所を訪問させて頂き「ヴィッセル神戸練習場「いぶきの森球技場」についてご説明を受けました。



【球技場の概要】

土地面積：53,317㎡（天然芝グラウンド2面・人工芝グラウンド1面・クラブハウス・駐車場等）

建物：クラブハウス（軽量鉄骨造2階建）1,331㎡

市民利用クラブハウス（軽量鉄骨造1階建）229㎡

他（更衣室等）214㎡

【練習場を整備した経緯】

平成6年に神戸にJリーグのプロサッカーチームの誕生させるため「神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会」とともに岡山県の川崎製鉄(株)サッカー部を誘致し、運営会社(株)オレンジサッカークラブ(翌年には(株)ヴィッセル神戸に社名を変更)を設立。市から出資、職員の派遣を行い市の外郭団体となった。そして、神戸にて「ヴィッセル神戸」として活動するにあたり、

不可欠となる練習場の整備を平成7年に行った。

- ・当初は市が造成した産業団地に天然芝グラウンド2面とクラブハウスを整備。

- ・平成16～18年にかけて、現いぶきの森球技場を整備（天然芝2面、人工芝1面、クラブハウス）し、移転。

【練習場整備費用】

神戸市：315,000千円、JAWOC補助：126,000千円、(株)クリームゾンフトボールクラブ：217,000千円、合計：658,000千円

【維持管理費】

普通財産で賃貸借契約により貸付を実施し、日常的な維持管理は楽天ヴィッセル神戸(株)が行っている。但し、一般開放も行っているため、それに伴う経費を市で負担している。

- ・賃借料(H30)：約9,200千円
- ・一般開放に係る委託料(H30)：約10,800千円

【賃貸借契約】

ホームタウンとしてのヴィッセル神戸への練習場提供という役割に加えて、楽天ヴィッセル神戸(株)への賃貸によりヴィッセル神戸や県サッカー協会等を通じて、青少年のサッカー振興や大会利用等に有効活用できるとともに、市民スポーツの育成・振興に寄与する。

【球技場の設計】

- ・天然芝2面については、市で公式な仕様に基づき整備。

・人工芝 1 面とクラブハウスについては、ノウハウの活用・費用逡減・整備後の管理運営の面から(株)クリムゾンフットボールクラブへ委託

【地域との交流事業、活用化事業(H29 実績)】

- ・練習の一般公開（練習後の選手との交流）
- ・夏祭りの開催

【市民の利用について】

- ・土日を中心に、半日単位で年間100コマ以上市民利用されている。
- ・主に兵庫県サッカー協会の試合や講習会等にて市民利用がなされているほか、全国高校女子サッカー選手権の会場として活用。



所感：今回、久里浜にマリノス練習場の誘致を進めているため「ヴィッセル神戸練習場 いぶきの森球技場」を参考に様々な観点から詳細を教えてくださいました。現地を見ることは叶わなかったが、今後の練習場整備にあたって非常に参考になりました。久里浜の練習場については、観客席もあり集客施設としても期待されておりますので、地域のまちづくりの観点からもアクセスも含め、利便性の向上や、商店街との連携、宿泊施設の誘致等、着実に前に進めて参ります。